

製品安全データシート

【混合物用(塗料用)】

製品及び会社情報

製品名 キャスビー
会社名 住環境創建株式会社
所在地 静岡県浜松市中区富塚町 534-15
担当部門 技術部
電話番号 053-412-5513 FAX 番号 053-412-5514

2.危険有害性の要約

【GHS 分類】

急性毒性	経口	区分外
	経皮	区分5
	吸入：ガス	分類できない
	吸入：蒸気	区分5
	吸入：粉塵, ミスト	分類できない
皮膚刺激/腐食性		区分3
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性		区分2
呼吸器感作性 個体/液体		分類できない
	気体	分類できない
皮膚感作性		区分1
生殖細胞変異原性		分類できない
発がん性		分類できない
生殖毒性		区分2
授乳に対するまたは授乳を介した影響に関する追加区分		分類できない
特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露)		区分1 神経、腎、血液、肝
特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露)		区分1 呼吸器
		区分2 精巣、肝、血液
吸引性呼吸器有害性		分類対象外
水生環境有害性(急性)		区分3
水生環境有害性(慢性)		区分外

注意喚起語 危険

「危険有害性情報」

- ・皮膚に接触すると有害のおそれ
- ・吸入すると有害のおそれ
- ・軽度の皮膚刺激
- ・重篤な眼への刺激
- ・アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- ・生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
- ・臓器（神経、腎、血液、肝）の障害
- ・長期ないし反復暴露による臓器（呼吸器）の障害
- ・長期ないし反復暴露による臓器（精巣、肝、血液）の障害のおそれ。
- ・水生生物に有害

「注意書き」

〈予防策〉

- ・容器を密栓しておくこと。
- ・取扱時には飲食などをしないこと。
- ・保護手袋/保護めがね/保護マスクを着用すること。
- ・取扱後は手をよく洗うこと。
- ・環境への放出を避けること。

〈応急措置〉

- ・目に入った場合：
 - 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合には外すこと。
 - その後も洗浄を続けること。
- ・飲み込んだ場合：
 - 直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。
- ・皮膚等に付着した場合：
 - 皮膚を流水またはシャワーで洗うこと。直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。
- ・漏出した場合：漏出物を回収すること。

〈保管〉

- ・涼しく換気のよい場所で、施錠して保管すること。

〈廃棄〉

- ・内容物や容器は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託すること。

3.組成、成分情報

単一化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分および含有量（危険有害性物質を対象）

化学名又は一般名	CAS No.	含有量(%)
エチレングリコールモノブチルエーテル	111-76-2	1 ~ 5
フタル酸ジ-n-ノルマルブチル	84-74-2	1 ~ 5
酸化チタン	13463-67-7	10 ~ 20

4.応急措置

目に入った場合

- ・直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。
- ・出来るだけ速く医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合

- ・付着物を布にて素早く拭き取る。
- ・大量の水及び石鹸又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しない。
- ・外観に変化が見られたり、痛みがある場合には医師の診断を受けること。

吸入した場合

- ・蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。呼吸が不規則か、止まっている場合には、人工呼吸を行う。嘔吐物は飲み込ませないようにする。直ちに医師の手当てを受けること。
- ・蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合

- ・誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
- ・嘔吐物は飲み込ませないこと。
- ・医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

5.火災時の措置

使用可能消火剤：炭酸ガス、泡、粉末、水、乾燥砂

使用してはならない消火剤：

消火方法・このものには可燃性がない。

6.漏出時の措置

- ・作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
- ・周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
- ・付近の着火源・高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。
- ・着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。

- ・漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
- ・付着物、廃棄物などは、関係法規にもとづいて処置すること。
- ・衝撃・静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。
- ・乾燥砂、土、その他の不燃性のもに吸収させて回収する。

大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。

- ・河川等へ排出され、環境へ影響を起こさないように注意すること。

7.取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意

- ・換気のよい場所で取り扱う。
- ・容器はその都度密栓する。

保管上の注意

- ・日光の直射を避ける。
- ・通風のよいところに保管する。

8.暴露防止及び保護措置

許容濃度、管理濃度（職業的暴露限界値、生物学的限界値）

成分名	管理濃度	許容濃度ACGIH(TLV)
エチレングリコールモノブチルエーテル	25ppm	20ppm 121mg/m ³
フタル酸ジ-n-ルマルブチル	—	5mg/m ³
酸化チタン	—	10mg/m ³

設備対策・屋内で取り扱う場合は換気をよくすること。

呼吸系の保護具

- ・有機ガス用防毒マスクを着用する。
- ・密閉された場所では送気マスクを着用する。

手の保護具

- ・有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。

目の保護具

- ・取扱いには保護メガネを着用すること。

皮膚および身体の保護

・取り扱う場合には、皮膚を直接暴露させないような衣類を着けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

その他の保護具

- ・静電塗装作業を行う場合には、通電靴を着用する。

9.物理的及び化学的性質

性状	外観	液体
色	ホワイト系	
臭気		僅かにアクリル臭
PH		8 ~ 9
融点、凝固点		データなし
沸点および沸騰範囲		100 °C (参考値)
引火点		なし
燃焼または爆発範囲		データなし
蒸気圧		データなし
蒸気密度		データなし
比重 (密度)		0.73
溶解度		データなし
n-オクタンル/水分係数		データなし
自然発火温度		データなし
分解温度		データなし

10.安定性および反応性

反応性

常温付近では危険な反応しない

安定性

接触により危険性のある物質

特になし

燃焼などによる有害性ガスの発生
有害ガスを発生する恐れがある。

このものは燃えないが、塗膜が燃えた場合、CO等の

その他の反応性情報

普通の条件での反応性はない。

11. 有害性情報

成分の健康有害性情報（危険有害物質を対象）

	急性毒性 経口	急性毒性 経皮	急性毒性 吸入（蒸気）	急性毒性 吸入（粉塵、ミスト）
エチレングリコールモノブチルエーテル	区分4	区分2	区分2	分類できない
フタル酸ジ-n-ノルマルブチル	区分5	区分外	分類できない	区分外
酸化チタン	区分外	区分外	分類できない	区分外
	皮膚腐食・刺激	眼損傷・刺激	呼吸器感作性	皮膚感作性
エチレングリコールモノブチルエーテル	区分2	区分2A	分類できない	区分外
フタル酸ジ-n-ノルマルブチル	区分3	区分2B	分類できない	区分1
酸化チタン	区分外	区分2B	分類できない	区分外
	生殖細胞変異原性	発がん性	生殖毒性	
エチレングリコールモノブチルエーテル	区分外	区分外	区分2	
フタル酸ジ-n-ノルマルブチル	区分外	区分外	区分2	
酸化チタン	区分外	区分外	分類できない	
	特定標的臓器（単回）			
エチレングリコールモノブチルエーテル	区分1（中枢神経系、血液、腎臓、肝臓）		区分3（気道刺激性）	
フタル酸ジ-n-ノルマルブチル	区分1（腎臓、神経系）		区分3（気道刺激性）	
酸化チタン	区分3（気道刺激性）			

	特定標的臓器（反復）	吸引性呼吸器有害性
エチレングリコールモノブチルエーテル	区分2（血液）	分類対象外
フタル酸ジ-n-ノルマルブチル	区分1（呼吸器）	区分2（精巣、肝臓）
酸化チタン	分類できない	分類できない
製品に関する有害性情報	製品としての安全性試験は行っていない。	

12. 環境影響情報

- ・生殖毒性：情報なし
- ・残留性、分解性：情報なし
- ・生態蓄積性：情報なし
- ・土壌中の移動性：情報なし
- ・成分の水生環境有害性情報（環境有害性物質を対象）

	水生環境有害性（急性）	水生環境有害性（慢性）
エチレングリコールモノブチルエーテル	区分2	区分外
フタル酸ジ-n-ノルマルブチル	区分1	区分外
酸化チタン	区分外	区分4

- ・漏洩、廃棄などの際には環境に影響を与える恐れがあるので取り扱いに注意すること。
- 特に、製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物・廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約（マニフェスト）をして処理すること。

- ・容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
- ・廃水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。
- ・廃塗料などを焼却処理する場合には、珪藻土等に吸着させて開放型の焼却炉で少量ずつ焼却する。または焼却炉の火室へ噴射し焼却する。
- ・特別管理産業廃棄物（廃油）に該当するので、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理すること。

汚染容器および包装

- ・空容器は内容を完全に除去してから処分する。

14.輸送上の注意

共 通

- ・ 取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
- ・ 容器漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。

陸上輸送

- ・ 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。

海上輸送

- ・ 船舶安全法に定めるところに従うこと。

航空輸送

- ・ 航空法に定めるところに従うこと。

国連番号該当なし

指針番号該当なし

15. 適用法令

- ・ 関係法規に該当しない。
- ・ 化学物質管理促進法： 該当物質あり

フタル酸ジ-n-ブチル 1.2 % 1種 270

16. その他の情報

主な引用文献

- ・ 独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）公表データ
- ・ (社)日本塗料工業会編 「原材料物質データベース」
- ・ 溶剤ポケットブック
- ・ 危険防災救急便覧
- ・ 国際化学物質安全カード（ICSC）
- ・ NIOSH 「RTECS」
- ・ 化学工業日報社 「化学品安全管理データブック」

本データシートは、作成時または改訂時において、製品およびその組成に関する最新の情報（危険有害性情報・取扱情報等）を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行い改訂いたします。

また、本データシートに記載したデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。

本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行って下さい。